

言語機能の老化

リハビリお役立ち講座
～ 名前が出てこない ～

＊言語機能の老化について

今回は、“言語機能の老化”について、お役立ち情報をお伝えしたいと思います。

脳卒中や他の病気で言語に影響を及ぼすような疾患がないにもかかわらず、最近話をする時に物の名前や人の名前が思い出せないといったことが、年齢を重ねるにしたがい多くなってくると思います。個人差はありますが、物の名前が出てこないのは年齢を重ねると誰もが自覚する症状の一つです。

＊スクリーニングテストについて

言語機能の老化を発見するスクリーニングテストの1つに『言語流暢性（りゅうちようせい）課題』があります。動物や野菜などをできるだけたくさんあげるカテゴリー流暢性課題と、「か」や「し」など選択した仮名から始まる単語をできるだけたくさんあげる音韻流暢性課題があります。

1、カテゴリー流暢性課題

- ・動物編：1分間に動物の名前をできるだけたくさん言ってください。
- ・野菜編：1分間に野菜の名前をできるだけたくさん言ってください。

2、音韻流暢性課題

- ・「か」から始まる言葉を1分間でできるだけたくさん言ってください。
- ・「し」から始まる言葉を1分間でできるだけたくさん言ってください。

各項目の課題で1分間に10個以上が正常といわれています。5個以下だと、とても少ない状態ですので、気になる方は主治医や専門医に相談してみてください。

イヌ
ネコ
ウマ……



カボチャ
カラス
カギ……



言語聴覚士
平村 敬寛



コミ白リハビリ
キャラクター
スピオ